



週末よしもと「よしもとがまたまたまた阿南にやって来るよ！」

お茶の間でおなじみの新喜劇が阿南にやってきます。大木こだまひびき、矢野・兵動、ゆったり感（阿南市出身・江崎峰史さん）と、すっち一座長を中心に桑原和男、吉田ヒロほか、新喜劇メンバーがお笑いとお心の癒しをお届けします。



日程 5月4日(祝)
1回目 13:00開演
2回目 16:00開演
場所 市民会館 大ホール
出演
お笑いライブ
（大木こだまひびき、矢野・兵動、あべこうじ、ゆったり感ほか）
新喜劇
（すっち一、桑原和男、吉田ヒロほか）
※都合により出演者が変更になる場合があります。
入場料 全席指定 S席4,000円 A席3,500円
※当日は500円増し
※5歳以上有料、4歳以下ひざ上無料
チケット販売場所 市民会館、平惣書店（阿南センター店、羽ノ浦国道店、小松島バイパス店）、アピカほか
問い合わせ 市民会館（☎22-7000）へ

「第55回記念 阿南市美術展」作品募集

開催日 5月3日(祝)～5日(祝)
場所 文化会館 視聴覚室および研修室
出品資格 市内在住または出身者および本市と関係の深い方で阿南市美術協会の会員
※小・中学生は出品することはできません。

作品規格
日本画 6号から50号までで額装または表装
洋画 8号から50号までで額装
書道 聯落以下（表装または軸仕立て、縦横自由）
写真 半切から全紙まででフスマ張り
彫塑・工芸・デザイン 横1.5m×縦1.5mまでで、展示にふさわしいように仕立てること。

※規格以外の作品は受付・展示はしません。
※額装にはガラスを用いないこと。（工芸の押し花作品のみガラス可）
※アクリル板の使用は可（日本画はアクリル板も不可）
出品点数 1人につき1部門あたり2点まで
会費・出品料 美術協会年会費1,500円（初めて出品される方と3年以上出品されていない方は、入会金1,000円が必要）
出品料は1点につき500円
作品の受付・搬入 4月24日(日) 9:30～12:00
文化会館1階 視聴覚室
※この日以外は受付できません。
問い合わせ 文化振興課（☎22-1798）へ

夢ホール ホワイエコンサート

陽射しあふれる夢ホールのホワイエで土曜の午後のひと時を音楽とお茶でおくつろぎください。
日時 4月23日(土) 14:00～14:45
場所 夢ホール（文化会館）ホワイエ
出演 山田沙織（ヴィオラ）
小林奏太（チェロ）
丸尾祐嗣（ピアノ）
プログラム ヴィオラとチェロのための二重奏曲ほか
入場料 500円（ワンドリンク付き）
仲良しチケット（2人以上：1人につき400円）は、前売りのみの取扱い。
※小学生以下は入場無料
販売場所 文化会館、平惣書店ほか
問い合わせ 文化会館（☎21-0808）へ



阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会
会長 湯浅良幸

阿波の藩札(二)

タイトルは「江戸時代の幣制(四)」とすべきだろうが、「阿波の藩札」(二)とした。三回にわたって「江戸時代の幣制」について書いたが質問があったので、おさらいをしよう。

造幣主権

貨幣鑄造権を国家権力のもと独占していない国家は、真の意味における国家とは言い難い。これを換言すれば「造幣主権」という。中世以降、多くの権力者はこの点に意を注いだり、実現したものは



なかった。しかし、きわめて不完全ながら初めて達成したのが、徳川家康である。しかし、幕府成立直後、実際には諸侯の貨幣鑄造（発行）を禁止出来なかった。もちろん、幕府は監督・許可のもとに条件付きで統制を強化し続けた。佐渡、石見、生野を始めとする主要鉱山は幕府によって独占されていた。そのため、諸侯は鑄造・発行することは困難となった。仙台通宝 しかし、幕府は諸侯の事情によって諸侯の鑄造・発行を認めざるを得なかった。幕府成立以前から甲斐国に通用していた甲金（甲州金）あるいは天明四（一七八四）年仙台藩で発行された「仙台通宝」、文久二（一八六二）年鹿児島藩で発行された「琉球通宝」を認めた。文化三（一八〇六）年四月、幕府は次のようなお触れを出している。「松平陸奥守領分に限り通用の鑄造の撫角、文字仙台通宝といたし、右領内において当辰年（文化五）より五カ年間通用を許可するものとし、他領において使用する者は処罰する。仙台通宝は粗悪、鉄銭にて仙台領内のみの通用銭である」とある。「寛永通宝」と紛らわしいので、撫角とさせたところ。鉄銭で質が粗



仙台通宝

参考 湯浅良幸著『阿波貨幣史』（続く）

悪なので領民も使用を嫌がった。「日本経済史」(竹越三又著)に「一貫文五匁五分より五匁にして寛永通宝の半匁である」とある。領内でも信用がなかったが、他領でも他の銭と混じって通用した。阿波でも通用した形跡がある。「浮世床初篇」(式亭三馬)に「そんなら言おうかい。又跡の月の晦日の晩、砂場で貸したそばの代価三十六文、しかもそのうち角銭が交ったさかい、おれも男じゃ。そりゃとるまい。差引三十五文の銭受取るのかい」とある。特に金沢、甲斐、秋田、山形、播磨、因幡、土佐、但馬、石見、佐渡、出羽、福島等において金、銀貨が鑄造され、あるいは灰吹銀、灰吹金、玉金と呼ばれ粗悪な金、銀貨として通用した。丁銀に統一されたのは、寛文年間（一六六一～七二）から元禄年間（一六八八～一七〇七）だとい



科学センター

デジタルプラネタリウム(無料)
土、日、祝日、春休み中の午後1時30分、3時頃の2回実施。
4月のテーマ 「今夜の星空と北斗七星」
春から夏にかけて良く見える「北斗七星」について、伝承や特徴などを交えてお話をしていきます。4月24日(日)まで。なお、4月29日(祝)～5月5日(祝)の期間は、子ども向けの特別投影を予定しています。

平成28年度友の会会員募集

科学センターでは、平成28年度科学センター友の会の会員を募集しています。
年会費 個人会員 2000円
家族会員 3000円
定員 40組(定員に達し次第締切)
入会方法 科学センターにある入会申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えてお申し込みください。なお、活動は5月29日(日)から始まります。

阿南市少年少女発明クラブ 平成28年度クラブ員募集

市内の小学校に通う4年生以上を対象として、科学工作を中心に年間12回程度、原則、毎月第3土曜日の午前中に活動します。高専の先生などを迎えての講座や夏休みには市内外の企業の工場見学なども予定しています。
定員 30人(希望者多数の場合抽選)
年会費 2000円(工作材料費)

発明クラブ体験会を実施

5月からの本格活動を前に、発明クラブはどんな活動をしているか知りたい人向けの体験会です。参加は無料、先着50人。
日時 4月30日(土) 午前9時～11時30分

発明クラブおよび体験会参加方法

4月中旬ごろ市内各学校を通じて配布されるチラシをご覧のうえ、お申し込みください。

問い合わせ 科学センター
(☎42-1600)へ
4月の休館日
4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)